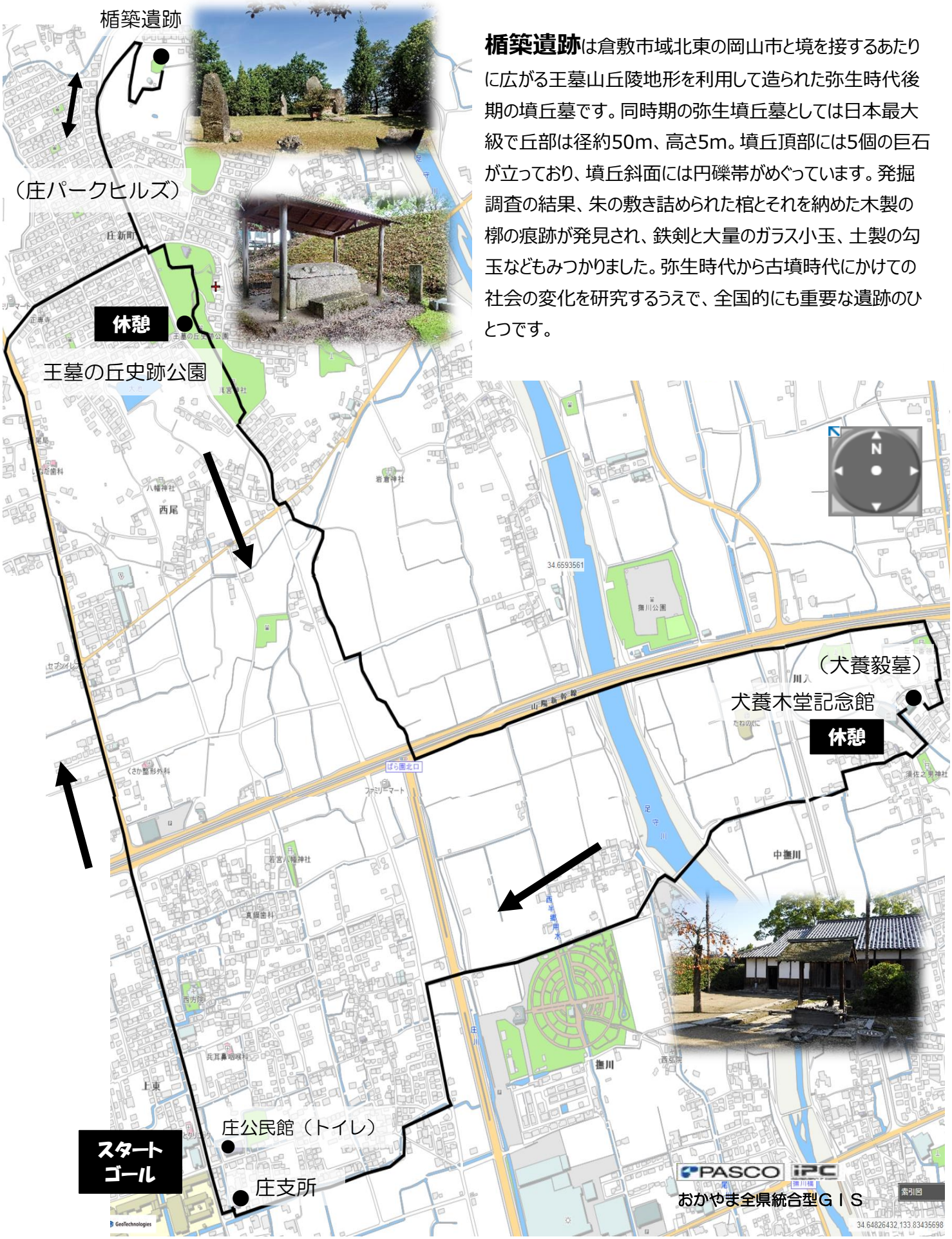
10月　楯築（たてつきいせき）遺跡コース

★庄支所→（庄パークヒルズ）→楯築遺跡→王墓の丘史跡公園→（犬養毅墓）→犬養木堂記念館→庄支所　（約8km）



楯築遺跡は倉敷市域北東の岡山市と境を接するあたりに広がる王墓山丘陵地形を利用して造られた弥生時代後期の墳丘墓です。同時期の弥生墳丘墓としては日本最大級で丘部は径約50m、高さ5m。墳丘頂部には5個の巨石が立っており、墳丘斜面には円礫帯がめぐっています。発掘調査の結果、朱の敷き詰められた棺とそれを納めた木製の槨の痕跡が発見され、鉄剣と大量のガラス小玉、土製の勾玉などもみつかりました。弥生時代から古墳時代にかけての社会の変化を研究するうえで、全国的にも重要な遺跡のひとつです。